

平成 22 年度 特例民法法人 岐阜県臨床検査技師会
第 1 回定期総会議事録

1. 開催日時

平成 22 年 6 月 6 日（日）10：15～12：15

2. 開催場所

岐阜赤十字病院・講堂

〒502-8511 岐阜市岩倉町 3-36

TEL 058-231-2266

3. 出席正会員数

513 名（出席者 35 名、委任状 478 名）

4. 議 案

（1）第一号議案 平成 22・23 年度 役員選出（未承認分）について

（2）第二号議案 平成 22 年度 予算案の追加承認について

（3）第三号議案 平成 21 年度 事業報告について

事業報告（総括）

学術部事業報告

精度保障事業部事業報告

広報部事業報告

組織調査部事業報告

庶務部事業報告

（4）第四号議案 平成 21 年度 決算報告・監査報告

5. 進行

1) 開会の辞 永井 正信 副会長

2) 司会者 西村 孝 庶務部長

3) 会長挨拶 北村 顕 会 長

4) 議長の選出

議事に入る前に出席者に対して議長の選任について選出方法を募った。

会場内より司会者一任の声があり、司会者は議長として次の 2 名を指名した。

司会者に対する承認を求めた結果、満場一致の承認を得た。

議 長 伊藤 秀明（岐阜市民病院）

平沢 弘行（岐阜県総合医療センター）

5) 総会役員の選出

議長により書記 2 名、資格審査委員 7 名、議事録署名人 2 名の指名があり、会員の承認を求めた結果、満場一致の承認を得た。

総会役員は下記に示した。

書 記 多和田 嘉明（東海中央病院）

山本 貴子（岐阜社会保険病院）

資格審査委員

岐阜地区	松山 昌史	(岐阜市民病院)
	金森 妙子	(岐北厚生病院)
西濃地区	臼井 信雄	(大垣徳洲会病院)
飛騨地区	梶谷 孝二	(高山赤十字病院)
中濃地区	宮内 隆昌	(八幡病院)
東濃地区	渡辺 徳子	(県立多治見病院)
議事録署名人	一柳 好江	(岐阜市民病院)
	西村 孝	(岐阜大学病院)

6) 資格審査委員報告

松山資格審査委員より総会出席者および委任状提出会員の資格審査報告がなされた。正会員数 666 名中、出席会員数 35 名、委任状提出会員数 478 名で合わせて 513 名で過半数以上となり本会・定款第 23 条により本総会が成立することが報告された。これにより議長は総会の成立を宣言し、審議に入ることにした。

7) 議案審議

議案書に基づいて審議を行った。

第一号議案と第二号議案の審議は伊藤議長が担当された。

(1) 第一号議案 平成 22・23 年度役員選出(未承認分)について

兼子役員推薦委員長から報告がなされた。

3 月の定期総会で役員の選出承認ができなかった、副会長 1 名と監事 1 名について推薦を行った。副会長として西濃地区から石郷潮美さん(大垣市民病院)、監事として岐阜地区から山本初津恵さん(岐阜県浄水事業公社)を推薦した。

推薦が行われなかった地区へ打診を行った。石郷潮美さんについては、全地区から了承を頂いた。山本初津恵さんについては、東濃地区の一部の会員から反対意見があったが、他の地区からは承認を頂いた。

議長は第一号議案についての審議を求めた。その結果異議の意見がなく、拍手多数で承認された。

(2) 第二号議案 平成 22 年度予算案の追加承認について

兼子会計部長から報告された。

兼子会計部長が素案を作成し理事会で検討を行い、牛丸公認会計士に監修をして頂いた予算書について説明がなされた。

●収入合計として、1,647 万円であり

おもな内訳は	正会員収入	1,280 万円 (640 名 * 20,000 円)
	賛助会員収入	90 万円 (30 口 * 30,000 円)
	交付金収入	75 万円
	精度管理参加収入	151 万円
	研修会収入	33 万 5,000 円
	広告収入	10 万円

●支出合計として、1,479万5,000円であり

おもな内訳は	事務所運営費	222万3,000円（その内人件費は110万円）
	会議費	103万3,000円
	学術費	123万5,000円
	精度管理調査費	150万円
	広報事業費	33万6,000円
	負担金支出	640万円（日臨技会費640名×10,000円）
	公認会計士委託料	31万5,000円
	健康まつり助成金	16万円

収支残高は167万5,000円になるが、前年度に107万円の赤字があるので、60万円程の繰越金である。ただし、原価償却分として43万円を貯金する必要があると会計士からの指摘があり、本当の繰越金は17万円になる。

議長は第二号議案についての審議を求めた。

○大垣市民病院の樋口会員から質問（2つ）がなされた。

1. 講師の謝礼・交通費が高いと前回の総会で議論があったが、予算が前年度と同じかどうか。

近藤学術部長から説明された

前年度は20万円の予算で支出は17万8,000円であった。

今年度も20万円の予算（県学会での講師料）を組みましたが、20万円より少ない金額で収まる見通しであると答弁された。

追加発言として、樋口会員から、県内にも講師として適任の人も見えるので活用して少しでも講師料支出を抑えてはどうかと意見された。

2. 会報について、形式としてPDFでの運用は考えているか。

兼子会計部長から説明された。

会報、会誌についてPDFでの運用、メールでの運用について理事会で検討して、進めて行きたい。

○岐阜市民病院の一柳会員から発言がなされた。

3. 春秋の拡大研修会を今年度は中止とされたが、金のかからない会員交流の場として拡大研修会を行って頂きたい。

技師会の歩み、先輩技師の歩み、どんな思いで、岐阜県の技師会を作り上げてきたかについての拡大研修会を開催して頂きたい。

以上の審議の後、議長は第二号議案についての採決を求めた。その結果異議の意見がなく、拍手多数で承認された。

引き続き第三号と四号議案の審議を行った。これらの議案は平沢議長が担当された。

（3）平成21年度事業報告について

①平成21年度 事業報告（総括）

平成20年度事業報告の総括を北村会長から報告された。

- 1) 平成 21 年度第 1 回定期総会（6/28）において、会計決算報告に問題があり不承認となり、平成 19・20 年度会計の収支、負債についてその実態を調査するために公認会計士の指導のもと会計調査委員会を立ち上げた。会計調査委員会の報告は、各地区総会時に報告した。この報告の中で委員会から技師会へ 5 つの提言があり、会員の皆様には大変ご心配をおかけしました。この平成 19、・20 年度会計決算報告は平成 21 年度第 2 回臨時総会（2010/3/7）において行い、承認を頂きました。
- 2) 平成 21 年度第 2 回定期総会（3/7）において、平成 22 年度事業計画・平成 21 年度中間会計決算、監査報告が承認された。平成 22 年度予算案については、十分検討する時間を頂くために平成 22 年度第 1 回定期総会（2010/6/6）で議案審議することにしました。
- 3) 会費の値上げは、平成 21 年度第 2 回定期総会において 5,000 円の値上げで平成 22 年度より実施することで承認を頂きました。
- 4) 任期満了に伴う役員改選については、現執行部は役員全員の退任を希望したが、会の運営を正常化する役目として、次期も運営に携わっていくことを求められた。しかし、副会長 1 名、監事 1 名は本人の同意が得られなかったため、この 2 役職については、平成 22 年度第 1 回定期総会（2010/6/6）で決定することになった。

引き続き各担当部門から各事業報告の詳細が報告された。

②平成 21 年度 学術部事業報告

学術部事業報告について近藤学術部長から報告された。

1) 各種学会について

- ・第 58 回日本医学検査学会は平成 21 年 7 月 30 日～8 月 1 日に神奈川県で開催され、本県から一般演題座長 3 名を推薦した。
- ・第 48 回中部医学検査学会は平成 21 年 11 月 7 日～8 日に静岡県三島市で開催された。
- ・第 49 回岐阜県医学検査学会は延期させて頂き、平成 23 年 3 月に開催予定です。
- ・第 26 回岐阜県病院協会医学会は平成 21 年 10 月 25 日に高山市民文化会館で開催された。

2) 拡大研修会

- ・春季拡大研修会は平成 21 年 6 月 28 日（日）大垣市情報工房にて、血液・輸血研究班担当で開催した。
- ・秋季拡大研修会は平成 21 年 11 月 15 日（日）土岐市セラトピア土岐にて、生理研究班担当で開催した。

3) 部門別研究班研修会

- ・各研究班研修会はこのべ 30 回開催され、のべ参加者は 551 名であり、1 回あたり平均して 18 名であった。

4) 市民健康まつり

- ・東濃地区（坂下総合体育館 5/31）、東濃地区（東美濃ふれあいセンター9/13）、岐阜地区（岐阜市文化センター11/1）、西濃地区の 4 ケ所で実施された。

5) 学術誌発行

経費節減のためやむなく中止しましたが、平成 22 年度は発行を予定している。

発行経費は 50 万円を予算化しているが、数社で見積もりを取って、少しでも経費節減を行

っていく。

③平成 21 年度 精度保障部事業報告

精度保障部事業報告について田中精度保障部長から報告された。

1) 標準化調査

3回実施し、集計作業をそれぞれ6月21日、8月23日、11月15日に行った。

2) 精度管理調査

7月26日に調査試料を配布。8月7日に調査結果データを締切。9月27日に精度管理調査速報を発送。1月24日に報告会を開催した。

3) 平成 22 年度の予定

・標準化調査は平成 22 年 3 月末で 3 カ年計画での施行が終了の予定であったが、日臨技から平成 22 年度も継続して日臨技の予算で実施することが通達された。これを受けて岐臨技としても継続して実施するが、平成 22 年度は実施回数を 2 回とする。

・精度管理調査は、各項目を見直し絞り込んで、低予算で行っていく。

④平成 21 年度 広報部事業報告

広報部事業報告を鈴木広報部長から報告された。

1) 岐臨技会報について

年 5 回の発行を予定していたが、会計収支の不備等で 3 回の発行となった。

第 10 号（4 月 21 日）第 11 号（7 月 17 日）第 12 号（12 月 20 日）

2) 会報内容の充実化

技師会の活動・会員の動向、研修会の報告など会員の方々に情報提供できる様に作成して行き、技師会活動への理解と参加を呼びかけたい。

3) 岐阜県臨床検査技師会会誌について

今年度は発行しませんでした。

⑤平成 21 年度 組織調査部事業報告

組織調査部事業報告について石郷組織部長から報告された。

1. 日臨技共催公益目的事業について

春季拡大研修会の市民公開講座「大震災直後の病院対応について」木下先生（神戸大学病院検査部技師長）の講演を日臨技共催公益目的事業として日臨技に申請した。

2. 平成 22 年度への懸案事項

1) 女性部会について

今年度の活動計画案は、新担当理事に一任したい。70～80%は女性技師が占めており、活発な活動を望みたい。

2) 技師会未加入技師の実態調査

今後、会員数の減少が見込まれることから、技師会未加入技師の実態調査（アンケート形式）に着手する。

3) 役員選任規定および選挙規定の作成

現在、役員推薦規定はあるが、選挙規定がないため混乱しやすいので新たに役員選任規定および選挙規定（選挙管理委員会）を新設する。

⑥平成 21 年度 庶務部事業報告

庶務部事業報告としては、主に独立事務所の事業について西村庶務部長から報告された。

- 1) 年間事務所扱い事項では、毎月 20 日前後に研修会等おもな案内の発送が行われた。
- 2) 事務所は会議、研修会等にも使用されており、年間の使用状況が報告された。

年間 76 回使用されており、月に平均 6 回程が会議等に利用された。平成 21 年度は会計処理不備の指摘があり、会計事務の使用が多くあった。

(4) 第四号議案 平成 21 年度 決算報告・監査報告

○平成 21 年度収支決算報告について西山会計部長から報告された。

●収入合計として、19,851,462 円であり

おもな内訳は	正会員収入	11,040,000 円 (736 名 * 15,000 円)
	賛助会員収入	1,380,000 円 (46 口 * 30,000 円)
	交付金収入	2,371,044 円
	精度管理参加収入	1,723,000 円
	研修会収入	483,900 円
	広告収入	100,000 円

●支出合計として、15,482,385 円であり

おもな内訳は	事務所運営費	3,330,497 円 (その内人件費は 1,595,778 円)
	会議費	810,930 円
	学術費	926,243 円
	精度管理調査費	1,999,924 円
	広報事業費	127,585 円
	負担金支出	6,868,000 円 (日臨技会費)
	公認会計士委託料	210,000 円
	健康まつり助成金	163,220 円

収支差額は 4,369,077 円であった。

○監査報告について中村監事から報告された。

5 月 13 日に技師会事務所で安部、中村両監事によって平成 21 年度の会計監査が実施され、その結果について報告された。

1. 会務について

平成 21 年度事業計画の執行は、円滑かつ確実に遂行されている事を認めます。

2. 会計について

平成 21 年度会計の予算執行は適正であり、収入支出台帳、各帳簿並びに領収書等の各証拠種類の整理及び管理は適正に行われている事を認めます。

議長は第三号および四号議案についての審議を求めた。

○岐阜赤十字民病院の木村会員から質問がなされた。

1. 精度管理調査において、県医師会と岐臨技との共同での実施について働きかけられたと聞いていますが、その現状と今後どう考えているのか教えてほしい。

田中精度保障部長から答弁があった。

- ・県医師会の精度管理調査は、県医師会の精度管理調査委員会（委員長：岐阜大学検査部清島教授）により企画がなされ、岐阜大学検査部古田委員が中心となって実施されており、運営費は施設参加費と岐阜県の補助金で賄われている。
- ・県庁健康増進部にも働きかけ、岐臨技が実施している内容を県庁担当者に説明もしている。岐臨技と共同での実施では、形態が異なるので、県からの補助金は入らない。他県では共同での実施が行われているので、今後も働きかけて行きたい。

○木村会員から追加発言がなされた。

岐臨技としては、各検査室が標準化の必要性を認識し、全国共通の基準範囲・データの共有化を目指していると思う。医師会の理事の先生方は標準化の必要性の認識があるか疑問であり、現状の県医師会の精度管理調査は、岐臨技の精度管理調査とは少し方向性が違うと思う。今後、医師会と共同での標準化、精度管理を模索して行ってほしい。

○岐阜市民病院の一柳会員から意見があった。

第7回地域病院連携の研修会が昨日開催されたが、検査技師はだれも参加していない。検査データの共有化が必要であり、検査技師も参加して行くべきと思う。参加案内は院長宛てに来るので、検査部にも連絡してほしいと頼んでみてはどうか。

議長は第三号および第四号議案の決議を求め、拍手による採決に入った。

結果、賛成多数が得られ、第三号および四号議案について原案どおり可決成立した。

以上で本総会の議案審議を全て終了した。

議長よりこの機会に意見があればと言われたところ下記の意見があった。

○北村会長から平成22年度より外部監事となられた牛丸公認会計士の紹介があった。

牛丸氏より会計報告の補足説明があった。

○大垣市民病院の樋口会員から質問があった。

日臨技の保険制度で、実際に活用された事例があれば教えてほしい。

北村会長より答弁があった。

医療事故問題、自分の癌障害の事例があるが、詳しい事例は日臨技のホームページ(JMTS 共催ネット)に掲載されている。また、毎年度末に報告がなされている。

なお参考までに、日臨技の新会長は任意保険を全会員に加入する意向を示している。

以上で会員の意見は終了した。

議長はこれをもって、総会役員を解任した。

8) 閉会の辞 石郷 副会長

以 上

議 長

印

議 長

印

議 事 録 署 名 人

印

議 事 録 署 名 人

印